

野田前首相インタビュー要旨

＜本文記事1面＞

野田前首相のインタビュー要旨は次の通り。聞き手は読売新聞東京本社調査研究本部委員研究員の山内昌之・木村特任教授と橋本五郎特別編集委員。インタビューの詳細は「時代の証言者特別編」として7日から連載します。(敬称略)

橋本 民主党代表、首相に就任した当初、消費税についてどういった展望や覚悟を持っていたのか。

野田 2011年6月にいわゆる社会保障と税の一体改革の成案を作った。2010年代の半ばま

でに段階的に消費税を10%に上げていくというところまでまとまった。その後、民主党代表選で財政規律の話をしたので、必

ず法律化するまでが自分の仕事、最大の使命だと思っていた。財務副大臣、財務相と財政に関わってきた以上、総理になる以上は決着をつけるという思いを持っていた。

橋本 民主党政権は鳩山内閣の時から増税はやらないうちを言ってきた。納税してもらったのは容易ならざることで、どう整合性をつけようと思ったのか。

野田 任期中に十分な議論をして、議論して法律を作って、実施するのはあきらまざるは、ギリギリのくりくつだが、成り立たないと思えば、それであきらまなければならない。



インタビューに答える野田前首相

消費増税 最大の使命

野田内閣での主な出来事

- 2011年8月29日 民主党代表選で野田佳彦財務相を新代表に選出。野田代表は第95代首相に就任(9月2日)
- 11月11日 環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加に向けた協議入りを発表
- 2012年1月6日 政府・与党は、消費税率を2014年4月に8%、15年10月に10%まで引き上げることなどを盛り込んだ社会保障・税一体改革の案を決定
- 1月13日 野田首相と谷垣禎一自民党総裁が極秘会談
- 2月25日 野田首相と谷垣禎一自民党総裁が極秘会談
- 3月30日 政府は一体改革の柱となる消費税率引き上げ関連法案を閣議決定。国会提出
- 5月30日 野田首相は小沢元代表と会談。小沢氏は一体改革関連法案に反対姿勢を前さず。再会談も平行線(6月3日)
- 6月4日 野田首相は小沢元代表と会談。小沢氏は一体改革関連法案に反対姿勢を前さず。再会談も平行線(6月3日)
- 6月15日 野田首相は小沢元代表と会談。小沢氏は一体改革関連法案に反対姿勢を前さず。再会談も平行線(6月3日)
- 8月8日 野田首相は小沢元代表と会談。小沢氏は一体改革関連法案に反対姿勢を前さず。再会談も平行線(6月3日)
- 8月10日 野田首相は小沢元代表と会談。小沢氏は一体改革関連法案に反対姿勢を前さず。再会談も平行線(6月3日)
- 11月14日 野田首相は小沢元代表と会談。小沢氏は一体改革関連法案に反対姿勢を前さず。再会談も平行線(6月3日)
- 12月16日 野田首相は小沢元代表と会談。小沢氏は一体改革関連法案に反対姿勢を前さず。再会談も平行線(6月3日)

者の松下幸之助氏は「無税国家論」を唱えた。政経界の優等生として、消費税引き上げに批判的な立場から国会で質問された時、どう思ったか。

野田 松下さんが(日本

来の状況だ。税収が国費よりも低いという敗戦直後の昭和21年と同じ状況になった平成21年に財政を預かる立場として、天国から見ている松下さんだということ



橋本 党内の消費税反対論の中で、小沢一郎氏の会談は越えなければならぬ大きな山だったのではないが。

野田 (昨年)5月末、興石(東)氏(当時民主幹事長)の呼びかけで党本部で人会った。小沢氏は、その前にはなるべく話をあきらめよう。行軍、ちやんと木たなをまいたるつもりがない。社会保障(改革)、理念が見えてこない。アノシから脱却しなくてはならない。でも、もしも消費税の引き上げには反対ではないんばどうしよう

小沢流に見切り

言い方で、厳しい条件を三つ言う。一回目に会った時に折り合えなかった。

党の分岐はしない方がいいという話を途中で、率直にどうも見えた気がした。統治機構をどうしていく基本法のようなものを次の通常国会に民主党として提出すれば賛成しますよ。折り返えろ。賛成しますかと念を押した。賛成すると言った。だったら採用しようということ、特命で作られた。

それを待って、ほぼ一週間後、二回目会ったらハト

ルが高くなった。用意してしましたと言ったら、おまの自身も買わないで今国会中にやれと言いはじめた。この時は次の通常国会と言ったに違いないかと。そろそろ段々ハトを上げていくのが小沢流と聞いた。同時に、一週間の間に自民、公明が本当にも賛成合意して進めていくか探ったんだと思う。(消費税)3党合意は6月中旬で、その前は膠着状態だったので、可能性がないと思っただけ。それが降はもつてくるような気がなかった。

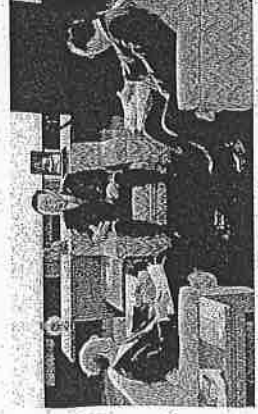


(左から)野田前首相、山内委員研究員、橋本特別編集委員



こいた方がいいと思った。山内 代表選に勝った時の演説でトシヨウの話をしたが、首相就任後の演説ではその話をしていない。代表選の時は党内融和を意図されたが、消費税の歴史の会話を説きながら戦略的にやる、大きな政治改革に際み出すという決意と心意気を感じた。

野田 所信表明演説で



野田 所信表明演説で、私は消費税を10%に上げていくという決意と心意気を感じた。

に区切りをつけた。年内12月までに法案を作る。年度内に法案を提出する。(通常国会)会期内に成立させる。暮れが山、3月が山、6月が山。税制の政変で、か見ると山があった。

最初のハードルは年内の賛成。成案の2010年代半ば、段階的に10%という回復ペースを上げるのか、税率はその都度どうするかというところを懸念した。法案まで、党内の合意形成ができれば、相当前に進むと思っていた。

橋本 「最後は消費税を取るか、総理大臣のポストを取るかです。消費税を取らざるは総理のポストは捨てないといけませんよ。どこを取るか」と聞いたことがある。この時、記者に「消費税を取るか」と言われた。あのとき、本物だと思った。

野田 今の道徳につきる。消費税を取るか、総理大臣を取るか。あるいは党を取るか、消費税を取るか。あるいは、僕は「消費税の課税に決着をつける」と「政治生命を懸ける」と(言った)。それならなら、議員を辞めたいことだった。3か月前の大きな山を乗り越える時は、いつも胸中にその思いをもちてきた。

(左から)橋本、野田、山内の各氏

野田前首相インタビュー

務相と財政に関わってきた以上、総理になる以上は決着をつけるという思いを持っていた。

橋本 民主党政権では鳩山内閣の時から増税はやらないうちを言ってきた。納得してもらったのは容易ならざるように、どう整合性をつけようと思ったのか。

野田 任期中にはないという事は、議論して法律を作って、実施するのはあきらめたはず。ギリギリのギリギリだが、成り立たないと思えば、それでやめなければいけない。アノミスとでも呼んでいるか、たまたま、参院選を言(正首相)さんが言っている結果が出たという二重の意味でハズがあると思った。

橋本 松本政経塾の創設

「年内解散」決めてた

橋本 昨年7月25日に、当時の谷垣・自民党総裁とひそかに会ったという話がある。お互いに否定はしているが、増税で与野党が合意に至る出発点として大事な会談だった。

野田 政策論では合意。ただ、どうしても自民党、野党のトップは「解散した後にもろろ」。こちらは任期中に「政治生命を懸けてやろう」としているの

「近いうち」の真相

「国会会中」。政策論は一致だが、政局的には違っていた。どちら乗り越えるかだと思った。

橋本 昨年8月8日、谷垣氏との会談で、「近いうち」に国民に旨を問うと約束した。どういった約束だったのか。「近いうち」はいつのつもりだったか。

野田 (消費税関連法案)成立の最終盤、ほとんど自民党で来ていて、政局論

野田内閣での主な出来

2011年8月29日	民主党代表選で野田佳彦が代表に選出。野田代表は就任(9月2日)
11月11日	環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加に向けた協議入り
2012年1月6日	政府・与党は、消費税率を上げることなどを盛り込んだ「統一税率案」を提出
1月13日	野田首相と谷垣第一自民党代表との会談が発表
2月25日	野田首相が国会で解散案を提出
3月30日	野田首相は「年内に解散案を提出する」と発言
5月30日	野田首相は小沢元代表と国会で再会談も平行行儀
6月4日	野田首相は「年内に解散案を提出する」と発言
6月15日	野田首相は「年内に解散案を提出する」と発言
8月8日	野田首相は「年内に解散案を提出する」と発言
8月10日	野田首相は「年内に解散案を提出する」と発言
11月14日	野田首相は「年内に解散案を提出する」と発言
12月16日	野田首相は「年内に解散案を提出する」と発言

者の松本幸之助氏は「無税国家論」を唱えた。政経塾の慶弔生として、消費税引き上げに批判的な立場から国会で質問された時、どう思ったか。

野田 松本さんが(日本の)将来を心配したうえで、借年100兆にもなるという時代はまったく違う。平成21年(2009年)途中で政権交代だったが、税収よりも国債に依存するという昭和21年(1946年)以



(左から)野田前首相、山内客員研究員、橋本特別

来の状況だ。税収が国債より低いという敗戦直後の昭和21年と同じ状況になった平成21年に財政を預かる立場として、天国から見ている松本さんだ。こわ

うと思ってきた」という感じだった。最初は幹事長がいたが、谷垣氏から「おまゝ」といってやらなかった。谷垣氏から「おまゝ」といってやらなかった。谷垣氏から「おまゝ」といってやらなかった。

谷垣氏は「近いうち」といって解散案を打ち出した。谷垣氏は「近いうち」といって解散案を打ち出した。谷垣氏は「近いうち」といって解散案を打ち出した。

尖閣国有化 100年後への布石

山内 参議議員に限り、領土を巡る紛争解決には、世紀の単位を対峙するくらいの見通しが必要になる。中国国内の権力闘争の舞台に乗る必要はない。友好回復という短期的課題を、世紀単位で考える。長期的中国国家主権の利益と一纏めしてはダメだ。歴史への重い責任は、経済の短期的利益と相殺されるものではない。

野田 参議の話で、僕も(東京都が買い取るという)石原(慎太郎前都知事)氏との違いは、石原氏は豊後石火、現状変更を含めた圧勝を考えていた。僕は虎視眈眈と踏襲。100年、200年たった時のために、今はまず、10年、場合によっては1年でいいか



(左から)橋本、野田、山内

野田前首相インタビュー

時代の証言者

特別編

振り返って思えば、駅伝のタスキを受けたら、箱根の一番の上り坂担当だった

2012年12月に暮を閉じた民主党政権で最後の首相を務めた野田佳彦さん。消費税率引き上げを決め、東日本大震災の復興、尖閣諸島国有化、原発再稼働などに取り組んだ日々を振り返ってもらった。今回は特別編として読売新聞東京本社調査研究本部客員研究員の山内昌之明大特任教授と橋本五郎特別編集委員が聞き手を務めた。

民主党 野田 佳彦 56

《菅直人首相辞任を受けて、11年9月、第95代内閣総理大臣に就任。最大の使命として消費税率の引き上げを柱とする社会保障・税一体改革に取り組んだ》

11年6月に、いわゆる社会保障と税の一体改革の成案を作りました。2010年代の半ばまでに段階的に消費税を10%にあげていくというところまでまとまり

命として消費税率の引き上げを柱とする社会保障・税一体改革に取り組んだ》



消費増税などについて語る野田佳彦前首相（読売新聞東京本社で）

ました。(11年8月)民主党代表選で財政規律の話をして、討論で成案をどうするのかなった時に、具

消費税上げ 退路断った

という感じです。(まだ新人の)大学1年生走着なのに、いきなり上り坂。震災復興、原発、消費税、TPP(環太平洋経済連携協定)、尖閣国有化……。国論を二分するような大きなテーマをやらざるを得ない内閣でした。倒れるわけにはいかない。横道に逃げることもできない。

《菅直人首相辞任を受けて、11年9月、第95代内閣総理大臣に就任。最大の使命として消費税率の引き上げを柱とする社会保障・税一体改革に取り組んだ》

ました。(11年8月)民主党代表選で財政規律の話をして、討論で成案をどうするのかなった時に、具



消費増税などについて語る野田佳彦前首相（読売新聞東京本社で）

ました。(11年8月)民主党代表選で財政規律の話をして、討論で成案をどうするのかなった時に、具

国は、所得の高い高齢者に医療費の負担増を求めることを検討しているとい

薬が必要な時は、なるべく

医療保険に入っているからといって、あまりに安易に病院に通う人もいるというが、それは避けるべきではないか。

医療費が増加の一途をたどり、2012年度は総額約38兆円、国民一人当たり約30万円に達したという。今後、増え続ける医療費を賄うことができるのだろうか

削減するよう努力することも大事だ。日頃から健康管理に努め、病気を予防することに力を入れることが重要だろう。

一人ひとりが、医療費を削減するよう努力することも大事だ。日頃から健康管理に努め、病気を予防することに力を入れることが重要だろう。

削減するよう努力することも大事だ。日頃から健康管理に努め、病気を予防することに力を入れることが重要だろう。

安倍首相は来年4月に予

大学生 木村 陸 19 (東京都杉並区)

無駄ない使い方を

消費税8%を表明

は、まだ。

医療費削減に役立つ

医薬品(後発品)を使うこ

と価格の安いジェネリック

定通り、消費税率を5%か

8月の失業率は3か月ぶ

り4%台に上昇し、サラ

リーマンの給与も減少が続

いているようだ。経済対策

な対症療法に終わるのでは

も効果は不透明だ。一時的

給付も行うようだが、これ

低所得世帯を対象に現金

感じている。

に結びつくのかと、疑問に

いが、本当に真金の上昇

負担の軽減策拡充も行うこ

を行う企業を対象にした税

5%に引き上げると表明

した。景気の腰折れを防ぐ

ため、5兆円規模の新たな

経済対策もあわせて実施す

るという。

1957年(昭和32年)、早

千葉県船橋市生まれ。早

大政経卒。松下政経塾1

期生、千葉県議を経て、選

93年、千葉県議を経て、当

6回。財務相を経て、格闘

主党でプロレスファン。

通

思っていました。ずっと財

務副大臣、財務相と財政に

関わってきて総理になる以

上は自分のところで決着を

つけるという思いでした。

鳩山(元首相)さん、菅

さんの後を受け継いで、自

分の内閣の位置づけとして

(11年9月の最初の)所信

表明演説で、震災の復興、

原発事故との闘い、経済。

それらはずっと引きずって

きたテーマですが、いよいよ

よ消費税の問題に切り込ん

でいくことが、政権の最大

の役割だと明確に打ち出し

ました。リスクはあったが、

それをやるのが私の仕事だ

と思いました。

所信表明演説で踏み込んで、G20サミット(主要20

か国・地域首脳会議)で国

際公約する。せっかく代表

になったので、その代表が

一番やることしていること

を覚はサポートするのが、

しないのか。党に向けて常

にそのメッセージを出しな

からそれは野党に向けて

「私は本気なんだ」という

メッセージを出し続けるこ

とでもありました。ある意

味、どんどん退路を断ち切

っていくやり方でした。

(この連載は、月々木曜

日と土曜日に掲載します)

ことを望んでいる。

代を含め、あらゆる層から

集めた消費税だということ

を忘れずに、無駄なく使う

品などの消費税率を抑える

「軽減税率」導入を急ぐべ

きた。そして私たち若い世

だ以上、まずは、生活必需

首相は引き上げを決断し

ないかと心配している。

投稿は〒103-8601日本橋郵便局
本社「気流」係まで。FAX 03-37
ルトoushou@yomiuri.com。職業、

誘わ
入っ
に医
しか
らな
もっ
んな
偶
で、
四
バス
駅
と誰
た。
いな
コ
ィ
ひ
い
口
次
見
か

時代の証言者

特別編

民主党の野田佳彦

GDP比で半減し、20年までに黒字化するという戦略です。財政健全化をしようためには税収増を図る成長と歳出削減と歳入改革の三つしかない。しかし、実際に予算編成をする中で、歳入改革をやるしかない。一般歳出の半分以上を占める社会保障を裏付けるには、消費税にスポットライトをあてるしかないというシロ気持ちの方が固まりました。



民主党の税制調査会と一休改革調査会の合同総会であいさつする野田首相(2011年12月29日、衆院第2議員会館で)

任期中に上げないということは、議論して法律を作って、実施するのは任期後だったらば、ギリギリのくさりくつだが、成り立つかな。そんなことを思いながら、マニフェストで触れていなかったこと(10年)参院選で菅(元首相)さんが言って、厳しい結果が出た

という二重の意味でハンデがある。だから、自分のところで決着をつけようと思いました。11年9月の首相就任から最初の3か月、「ハートル」として、年内に(消費増税)の素案をまとめる言いました。この年6月の成案では、2010年代半ばま

増税説得 最後は5時間

で、段階的に税率10%にするというところまで決まっていた。今度は、(税率を上げるのは)いつで何段階、税率はその都度どうするかということを書き込んで初めて素案になりました。そこで民主党内の合意形成ができれば、相当前に進むと思っていました。

「11年末、消費増税を巡る民主党内の議論は紛糾。12月29日、インド訪問から帰国したばかりの野田氏は、党税制調査会などの合同総会に急行して深夜まで説得にあたり、税率引き上げ時期を当初案から半年遅らせ、14年4月に8%、15年10月に10%とする素案をまとめた」

最終的に9時間の議論のうち5時間以上に加わり

ました。23人だったかな。反対の人の質問を受けて全部答えるという議論をほとんどやった。(具体的な時期、税率の)数字を入れて、半年ずらしたのは、後退ではなく、いろいろなものをセットで入れるためには必要で合理的な話だなど思ったから。途中で帰った人もいたが、残った100人くらい全員が拍手して終わった。怒号の一任ではなく、握手と拍手で終わり、これで大きな山は乗り越えたと思ふなりに思いました。しかし、その後も素案を大綱にする時や、法案の閣議決定前の事前承認の際と(党内議論の度)にすぐろくのように振り出しに戻った議論が続き、ちょっとがっかりしました。

民主党は2009年の総選挙で消費税について明確には語っていませんでした。マニフェスト(政権公約)で触れていなかった。任期中に上げないと言ったのは鳩山(元首相)さんで、我々は議論まで封印するつもりはなかったが、マニフェスト違反という批判は当然出るだろうと思っていました。

私は鳩山政権の時、財務副大臣で財政運営戦略を作り、菅政権の時に打ち出してまとめる作業をずっとやってきました。15年までに基礎的財政収支の赤字を対

嘱託職員 渡辺 庄吉 61 (山梨県富士吉田市) 両親の墓参りに行くと、線香を束ねる紙などが墓地のあちこちに散乱しているのをよく見かける。墓前にお供えるため、切り花を持って来る人も多い。しかし中には切り花の長さを整えるために墓の下の方を切った後、そのままゴミとして墓地の隅に捨て

れた看板が設置してある。それにもかかわらず、ゴミを捨てて帰る人たちが多く、ことは残念だ。墓参りは日々の暮らしに感謝し、先祖に手を合わせ、て祈る大切な行為ではないだろうか。少なくともお参りする人それぞれがゴミ袋を持参して、気持ちよく墓参りできるようにしたいものだ。

宇宙への夢 膨らむ

高校生 鈴木 惇哉 16 (大阪府交野市)

幼い頃、宇宙に興味を持っていて、次第に思いは薄れていったのだが、日本テレビ系のアニメ「宇宙兄弟」を見て、再燃した。宇宙航空研究開発機構(JAXA)で働きたいと思うようになった。本当になげたい夢を持つたのは、初めてだ。最近では日本人宇宙飛行士の名前や、「このとりに」イブシロン」という言葉を聞くだけで心が躍る。まずは、夢をかなえたいと思ふことができる大学に入りたいたいと思っている。JAXAで仕事をしたい。自分の姿を想像し、ロケットのようにならないう線に夢に向かって努力したい。

笑顔を支えに演奏

中学生 羽生 優花 15 (東京都立川市)

5年前から和太鼓教室に通っています。8月には地域のお祭りに参加し、2日にわたって和太鼓の演奏を披露しました。

しっかり練習して参加しましたが、1日目から手の皮がむけて、ママが出来ました。手が痛くても最後まで頑張れ

投稿は〒103-8601日本橋郵便局番
本社「気流」係まで。FAX 03-3217
rltousho@yomiuri.com。職業、氏

家賃 ぞろぞろを飲むい病馬さんだが、中「...」がバ... 思っ... まし... 店を... 方を... は退... った... 公園... 上... いて... 解剖... 共